

製品名: SULT2A1 (5Q7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18436**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:50-1:200
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	SULT2A1
別名	HST; ST2; STD; hSTa; DHEAS; ST2A1; ST2A3; DHEA-ST;
遺伝子 ID	6822.0
SwissProt ID	Q06520
免疫原	ヒト SULT2A1/ST2 の合成ペプチド

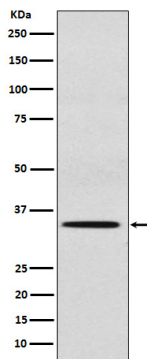
背景

肝臓および副腎におけるステロイドおよび胆汁酸の硫酸化を触媒します。3'-ホスホ-5'-アデニリル硫酸 (PAPS) をスルホン酸供与体として利用し、肝臓および副腎におけるステロイドおよび胆汁酸のスルホン化を触媒する硫酸基転移酵素です。プレグネロン、アンドロステロン、DHEA、胆汁酸、コレステロール、そしてアルコールやフェノール官能基を含む多くの生体異物を含む、幅広いステロイドおよびステロールの硫酸化を媒介します (PubMed:7678732、PubMed:2268288、PubMed:14573603、PubMed:18042734、PubMed:19589875、PubMed:21187059、PubMed:29671343、PubMed:7854148)。スルホン化は多くの化合物の水溶性を高め、腎排泄を促進しますが、同時に生体活性化を引き起こし、活性代謝物を形成することもあります。ステロイドおよび脂質の恒常性維持に重要な役割を果たします (PubMed:21187059、PubMed:19589875、PubMed:14573603)。胆汁酸代謝において重要な役割を果たす (PubMed:2268288)。さらに、強力な発がん性多環式アリールメタノールの代謝活性化を触媒します (類似性による)。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の SULT2A1 発現のウェスタンプロット解析。